

## 株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで  
定時株主総会 毎年9月  
剰余金配当基準日 中間配当 12月31日  
期末配当 6月30日  
※その他、必要がある場合には、あらかじめ公告の上、臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(電話お問い合わせ) 〒137-8081  
郵便物送付先 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

公告の方法 電子公告により当社ホームページ  
(<http://www.tokki.co.jp>) に掲載いたします。  
ただし、事故・その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、官報に掲載いたします。

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

■電話(フリーダイヤル) 0120-244-479  
■ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主さまは、お取引口座のある証券会社にご照会ください。


## 株主のみなさまの声を聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。


下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9813

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、「いいかぶ」と4文字入れて検索してください。

 空メールによりURL自動返信  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元にご到着してから約2ヶ月間です。

 ※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差し上げていただきます

## ホームページのご紹介

当社のホームページでは、株主・投資家のみなさまに向けてIR情報の他、ニュースリリースによる最新情報や事業内容などを分かりやすく発信しておりますので、ぜひアクセスしてください。

<http://www.tokki.co.jp>





代表取締役社長  
津上 晃寿 (つがみ てるひさ)

## 健全な企業体質への 変革に向かって

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第41期報告書をお届けするにあたり、当期の業績と次期見通しについてご報告させていただきます。

### 当期の業績について

#### 経営構造改革を強力に推進

当期は、当社主力事業の一つである有機EL業界におきまして、参入企業の研究開発や設備投資が積極的に行われ、有機ELパネルをメインディスプレイに搭載した携帯電話の相次ぐ発売や有機ELテレビの登場等により、一時低迷していた市場環境が急速に回復基調へ向かいました。更に、地球温暖化問題の深刻化ならびに急激な原油価格の上昇を背景にした太陽光発電への需要の高まり等、当社が参入する市場において、本格的成長の胎動が感じられる年度となりました。

当社はこのような状況下で、直販体制の強化、大手顧客からの増設案件の受注獲得活動、大型基板用有機EL製造装置の開発、抜本的資本増強の施策など、受注の回復と製品開発の推進、財務体質の再構築に向けて様々な施策を展開してまいりました。特に、抜本的資本増強の施策におきましては、キャノン株式会社との資本業務提携により、借入金をほぼ全額返済し有利子負債を大幅圧縮したことや、安定した資金調達手段の確立が可能になったことで、当社の財務体質は著しく改善いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、受注高118億34百万円と前期に比べ84億88百万円(254%)増加いたしました。売上高は前期末の受注残

高が20億42百万円という極めて低い水準にあったため、66億10百万円と前期に比べ5億84百万円(8.1%)減となったものの、利益面におきましては原価低減活動や受注管理の厳格化等によって顕著な改善となり、営業損失は7億50百万円(前年比14億88百万円の改善)、経常損失は7億99百万円(前年比15億47百万円の改善)、当期純損失は6億56百万円(前年比41億19百万円の改善)となり、経営構造改革の成果が着実に現れてまいりました。

### 来期の見通しと取り組み方針について

#### 黒字化達成と継続的・安定的成長ステージへの移行を目指して

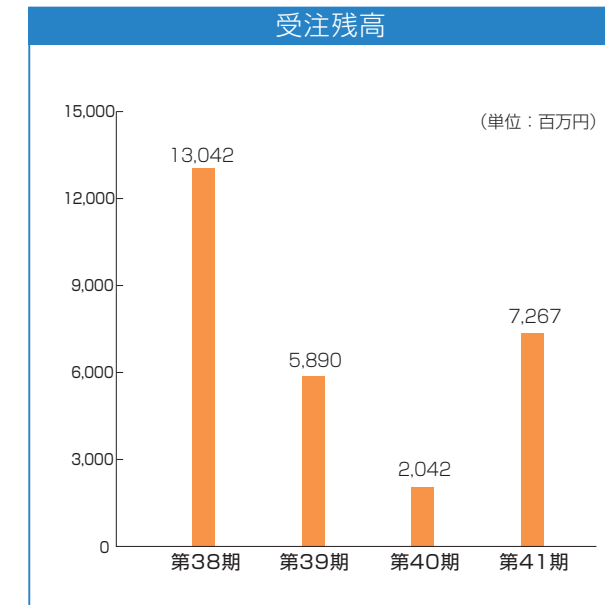
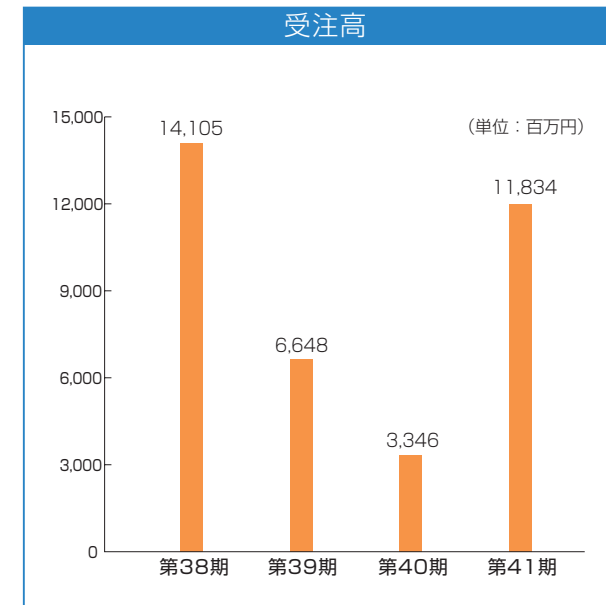
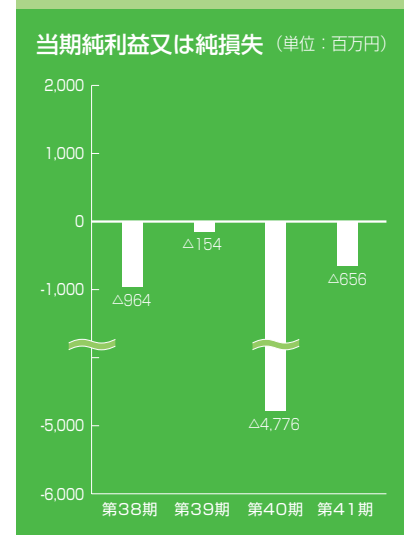
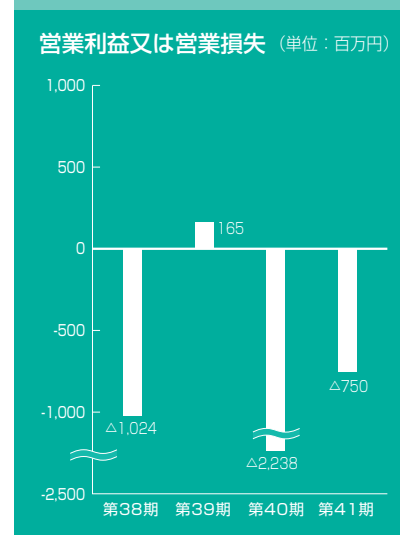
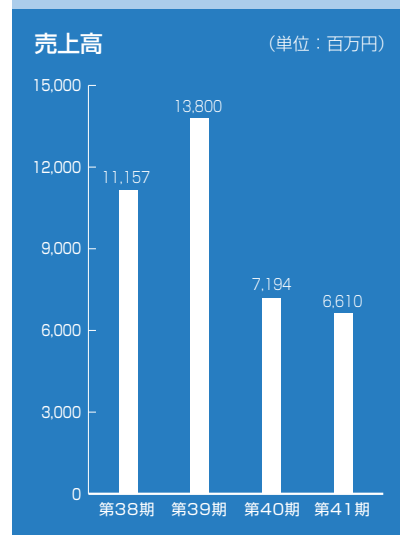
来期の当社事業関連市場におきましては、当社が納入した量産装置で生産される有機ELディスプレイ並びに化合物太陽電池に対する国内外の需要の増大から、既存顧客からの次期装置増設や新規設備投資の引合いが増加して、受注が好調に推移すると予想しております。

来期は、前期から展開してまいりました経営構造改革を、キャノングループの一員となったことを契機として更に加速させてまいりたいと考えております。具体的には、まず生産面におきましては、設計改革(設計の共通化・標準化、キーパーツのVE活動等)や調達改革(外

注リードタイムの短縮、複数購買等)の推進、原価統制の強化等により、原価低減の徹底と同時に生産性・品質の向上を図ってまいります。技術面においては、当社が長年にわたり培ってきた真空薄膜技術や精密アライメント技術を更に進化させるとともに、市場ニーズに応える技術開発に戦略的に取り組み、差別化技術の蓄積と知的財産化の強化を図ってまいります。販売・サービスサポート面におきましては、引き続き事業バランスの安定化を重視した受注展開を図るとともに、海外への積極的な営業活動を推進し、拠点整備等による国内外のサービスサポート体制も強化してまいります。

これらの取り組みにより、来期には連結売上高130億円、連結経常利益1億30百万円を実現し、5期振りの黒字化達成と継続的かつ安定的成長ステージへの移行を最重要目標として取り組み、健全な企業体質への変革を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 市場環境の好転を追い風に売上倍増

受注高が大きく伸びた結果、来期の売上高は当期比96.6%増の130億円を見込んでおります。

利益面では、前期から展開してまいりました経営構造改革を更に前進させ、設計改革や資材の調達改革の推進と原価統制の強化によって、黒字化を最重要課題として取り組んでまいります。

来期の見通し	
売上高	13,000 百万円
営業利益	140 百万円
経常利益	130 百万円
当期純利益	120 百万円

トッキ1年の歩み

● IR ● 展示会 ● ニュース

平成19年

- 7月 ● 新潟県中越沖地震発生。震災の影響は軽微であり、操業に支障はありませんでした。
- 8月 ● 通期決算発表・決算説明会開催
- 9月 ● 定時株主総会開催  
代表取締役社長に津上 晃寿が就任  
● 真空展に出展
- 10月 ● UDC社とのりん光材料性能実証を発表  
● FPD Internationalに出展し、GE社との膜封止技術展示
- 11月 ● キヤノン株式会社との資本業務提携契約を締結  
● 第1四半期決算発表
- 12月 ● キヤノン株式会社を対象とした第三者割当増資完了。  
キヤノングループの一員となる。



FPD Internationalの様子

平成20年

- 1月
- 2月 ● 化合物薄膜太陽電池向けスパッタリング装置の開発を発表  
● PV EXPO 2008（国際太陽電池展）に出展
- 3月 ● 第2四半期決算発表  
● 臨時株主総会開催  
代表取締役副社長に柳楽 卓司が就任
- 4月 ● 第3四半期決算発表  
● ファインテック・ジャパンに出展
- 5月 ● 環境フェア In KOBEに三菱商事・産総研と共同出展
- 6月 ● 環境総合展2008（札幌ドーム）に三菱商事・産総研と共同出展



展示会の様子



PV EXPOのトッキブース



有機薄膜太陽電池サンプル

真空技術応用製品事業

有機ELディスプレイ製造装置及び薄膜太陽電池製造装置の受注が増加いたしました。受注の多くは次期に検収・売上計上されるため、当期の売上高は減少いたしました。

その結果、受注高は80億48百万円（前期比1,783.5%増）、売上高は29億71百万円（前期比26.6%減）、受注残高は65億74百万円（前期比339.2%増）となりました。

NC工作機械等販売事業

当事業は好調を維持し、受注高・売上高は増加いたしました。

その結果、受注高は34億01百万円（前期比25.8%増）、売上高は33億円（前期比19.9%増）、受注残高は6億18百万円（前期比19.4%増）となりました。

その他事業

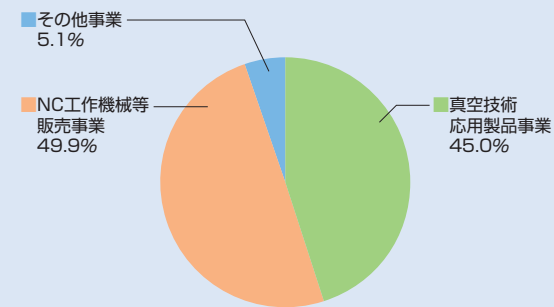
当事業は、前期計上したような大型案件がなかったため、売上高は減少いたしました。

その結果、受注高は3億84百万円（前期比78.5%増）、売上高は3億38百万円（前期比13.5%減）、受注残高は74百万円（前期比164.1%増）となりました。

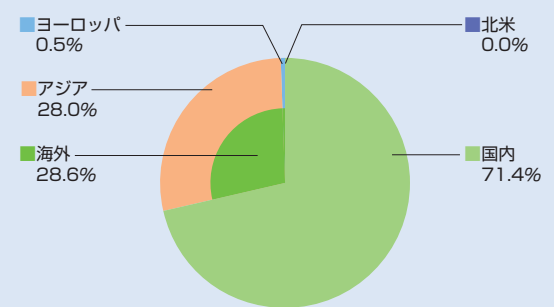
当期の受注高は118億34百万円（前期比253.6%増）、受注残高は72億67百万円（前期比255.7%増）となりました。売上高は66億10百万円（前期比8.1%減）、営業損失は7億50百万円（前期は22億38百万円の損失）、経常損失は7億99百万円（前期は23億47百万円の損失）、当期純損失は6億56百万円（前期は47億76百万円の損失）となりました。

■ 売上高構成比

セグメント別売上高構成比



地域別売上高構成比



連結貸借対照表

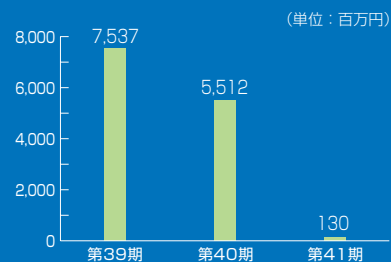
(単位：百万円)

	第41期 平成20年6月30日現在	第40期 平成19年6月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	6,352	4,872
固定資産	3,423	3,857
資産合計	9,776	8,730
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,369	5,114
固定負債	39	2,478
負債合計	3,409	7,593
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	6,357	1,093
資本金	6,572	3,611
資本剰余金	4,697	2,416
利益剰余金	△4,715	△4,737
自己株式	△197	△197
評価・換算差額等	8	43
純資産合計	6,366	1,136
負債純資産合計	9,776	8,730

有利子負債

130百万円

当期の有利子負債は、より強い財務体質の構築を図るため、130百万円以外全額の返済を行いました。今後も健全な財務体質を推し進めてまいります。

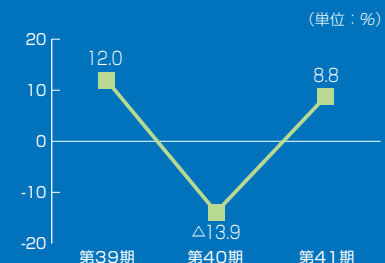


売上総利益率

8.8%

当期の売上総利益率は、売上が減少しているなかでも売上原価の低減を図り、8.8%となりました。

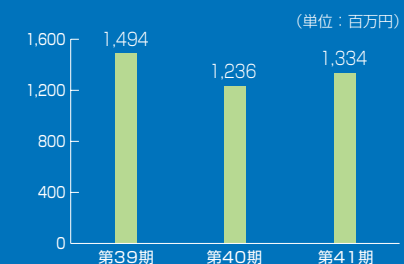
今後も売上総利益率の向上を図ってまいります。



販売費及び一般管理費

1,334百万円

当期の販売費及び一般管理費は、経営管理機能の強化を図るべく、本社管理部門の増員を行いました。今後も内部統制制度やJ-SOX法への対応を強化してまいります。



連結損益計算書

(単位：百万円)

	第41期 平成19年7月1日～ 平成20年6月30日	第40期 平成18年7月1日～ 平成19年6月30日
売上高	6,610	7,194
売上原価	6,026	8,197
売上総利益又は売上総損失 (△)	584	△1,002
販売費及び一般管理費	1,334	1,236
営業損失	750	2,238
営業外収益	66	52
営業外費用	116	161
経常損失	799	2,347
特別利益	550	13
特別損失	398	2,301
税金等調整前当期純損失	647	4,634
法人税、住民税及び事業税	11	40
法人税等調整額	△1	102
当期純損失	656	4,776

連結株主資本等変動計算書

第41期 (平成19年7月1日～平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成19年6月30日残高	3,611	2,416	△4,737	△197	1,093	43	1,136
当期中の変動額							
新株の発行	2,960	2,960			5,921	-	5,921
欠損填補		△679	679		-	-	-
当期純損失			△656		△656	-	△656
株主資本以外の項目の当期中の変動額 (純額)					-	△35	△35
当期中の変動額合計	2,960	2,281	22	-	5,264	△35	5,229
平成20年6月30日残高	6,572	4,697	△4,715	△197	6,357	8	6,366

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第41期 平成19年7月1日～ 平成20年6月30日	第40期 平成18年7月1日～ 平成19年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,196	1,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	52	315
財務活動によるキャッシュ・フロー	524	188
現金及び現金同等物の増減額 (△減少)	△618	1,646
現金及び現金同等物の期首残高	2,649	1,002
現金及び現金同等物の期末残高	2,030	2,649

# 単体財務諸表

Financial Statements

## 貸借対照表

(単位：百万円)

	第41期 平成20年6月30日現在	第40期 平成19年6月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	5,086	3,898
固定資産	3,595	4,018
資産合計	8,682	7,916
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	2,373	4,420
固定負債	24	2,456
負債合計	2,398	6,876
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	6,280	1,016
資本金	6,572	3,611
資本剰余金	4,697	2,416
利益剰余金	△4,792	△4,814
自己株式	△197	△197
評価・換算差額等	3	23
純資産合計	6,283	1,040
負債純資産合計	8,682	7,916

## 損益計算書

(単位：百万円)

	第41期 平成19年7月1日～ 平成20年6月30日	第40期 平成18年7月1日～ 平成19年6月30日
売上高	2,971	4,052
売上原価	2,760	5,412
売上総利益又は売上総損失(△)	210	△1,359
販売費及び一般管理費	962	944
営業損失	751	2,304
営業外収益	61	43
営業外費用	114	160
経常損失	804	2,421
特別利益	550	13
特別損失	398	2,293
税引前当期純損失	652	4,701
法人税、住民税及び事業税	7	8
法人税等調整額	△2	104
当期純損失	657	4,814

## 株主資本等変動計算書

第41期(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成19年6月30日残高	3,611	2,416	△4,814	△197	1,016	23	1,040
当期中の変動額							
新株の発行	2,960	2,960	-	-	5,921	-	5,921
欠損填補	-	△679	679	-	-	-	-
当期純損失	-	-	△657	-	△657	-	△657
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△20	△20
当期中の変動額合計	2,960	2,281	21	-	5,263	△20	5,243
平成20年6月30日残高	6,572	4,697	△4,792	△197	6,280	3	6,283

# 株式の状況 / 会社概要

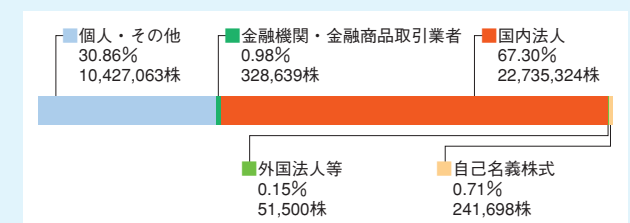
Company Profile / Stock Information

(平成20年6月30日現在)

## ■株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	33,784,224株
株主数	7,870名

## ■所有者別株式分布状況



## ■大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
キャノン株式会社	22,301,620	66.01
津上 晃寿	444,400	1.31
トッキ株式会社	241,698	0.71
日本証券金融株式会社	230,400	0.68
津上 健一	203,400	0.60
株式会社パワーズアソシエイト	120,000	0.35
藍澤不動産株式会社	75,000	0.22
トッキ取引先持株会	66,500	0.19
腕野 勉	66,000	0.19
トッキ従業員持株会	54,090	0.16

## ■会社概要

商号	<b>トッキ株式会社</b>
本店所在地	東京都中央区八丁堀二丁目21番2号
設立年月日	昭和42年7月29日
資本金	6,572,646,400円
主な事業内容	真空技術応用製品の開発・設計・製造・販売 NC工作機械等の販売、FA製品の製造・販売
従業員	連結：180名 単独：158名

## ■主な事業所

当 社	URL: <a href="http://www.tokki.co.jp">http://www.tokki.co.jp</a>
本 社	〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目21番2号 TEL. (03) 3551-3151
見 附 工 場	〒954-0076 新潟県見附市新幸町10番1号 TEL. (0258) 61-5050
新 潟 工 場	〒950-3134 新潟県新潟市北区新崎293番26号 TEL. (025) 278-2290

## ■役員(平成20年9月25日現在)

代表取締役社長	津上 晃寿	取 締 役	新保 俊二
代表取締役副社長	柳 楽 卓司	取 締 役	鷗 川 浩
専務取締役	鳴海 廣治	常 勤 監 査 役	塩 矢 富士夫
取 締 役	山口 登志雄	監 査 役	大 塚 博之
取 締 役	小川 光雄	監 査 役	佐々木 泰蔵

## トッキ・インダストリーズ株式会社 URL:<http://www.tokki-ind.com>

本 社	〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目15番5号 TEL. (03) 3543-8841
-----	---